

クチナシグサ

Monochasma sheareri (Moore) Maxim.

ゴマノハグサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

石川県に産すること自体が珍しく、生育地が限られており、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎の上部の葉腋ごとに1花をつける。萼は4裂して裂片は開出し、筒部には隆起した脈がある。果実の形がクチナシの果実と似ているところから名付けられた。

国内分布

関東地方、中京地方、中国地方と四国の瀬戸内側、九州北部。

県内分布

内浦区、中能登区。

生態など

半寄生の越年草。花期は4～5月。

生育環境

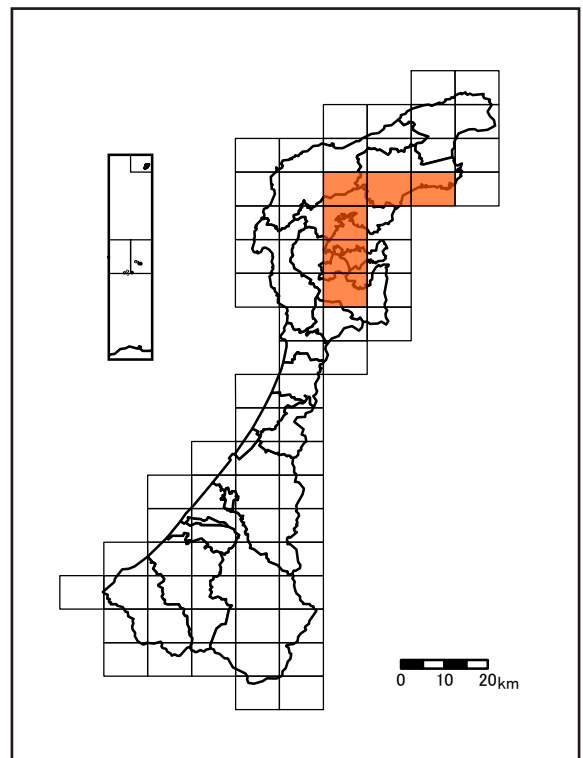
日当たりのよい草地や林内。

危険要因

森林伐採、道路工事、農薬汚染、管理放棄、自然遷移、産地局限。



濱野一郎・2006年5月10日・能登島



県内の分布